



# 令和8年度 主な事業の紹介



2030年度の目標達成を目指し、各施策における令和8年度の主な取組を紹介します。

## 脱炭素社会への移行

### 1 先進的な省エネ機器の導入

区ではこれまでに、再エネ電力調達の導入拡大のほか、先進的な省エネ機器を実証・導入するなど、脱炭素社会の実現に向けて率先して取り組んでいる。

令和8年度からは新たに公共施設の空調を自動制御する省エネ機器の導入を進め、空調に要する電力消費量を削減する。

### 2 環境学習用デジタルブックの製作

「地球温暖化」や「ごみの減量」など、環境問題を題材としたデジタルブックを製作し、学校の授業や自主学习など様々な場面での活用機会を通じて、環境意識の醸成と行動変容の促進を図る。

知る・学ぶ ▶ つながる  
Digital × Real



## 自然再興の取組

### 1 グリーンインフラガイドラインの策定

グリーンインフラの取組を推進するため、区民・事業者・区がグリーンインフラの導入を検討する際の参考となるよう技術や事例を示す「グリーンインフラガイドライン」を策定する。



グリーンインフラの一例  
田園調布区民農園  
(R8.4.1開園予定)

### 2 みどり基金の利活用

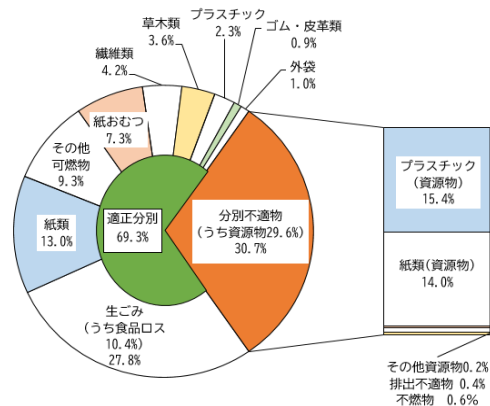
令和7年11月1日から寄附受付を開始した「みどり基金（通称：つながるみどり基金）」について、「大田区緑の基本計画グリーンプランおおた」で示すみどりの取組を計画的・継続的に推進していくため、基金の運用を行い、みどりの保全・活用を図る。

## 循環経済への移行

### 資源の再生利用の促進

区は、循環経済の実現に向け、従来の資源（新聞、雑がみ、びん、かん等）回収に加え、令和7年度は区内全域でプラスチックの分別回収を開始した。

令和8年度からは、可燃ごみの中に再生利用可能な資源（雑がみ、プラスチック等）が一定数含まれていることを鑑み、可燃ごみに含まれるこれらの量を減らし、資源として回収できるような取組を推進するなど、循環経済の移行を着実に進めていく。



令和5年度家庭ごみ組成分析調査 (可燃ごみ) より